

西日本海運株式会社 岸壁で海中転落者を人命救助 門司消防署から感謝状

昨年の10月30日の午前7時ごろ、北九州市門司区太刀浦31号岸壁で、入港船の綱取り作業中、西日本海運株式会社の作業船「はやとも」が入港船の船首綱取りを終えた直後、陸上の綱取り作業員が海中に転落したのを目撃し、陸上からの救助活動とともに「はやとも」での引揚げを試みた。また、近くで作業待機していた同社の作業船「まんじゅ」、「せいじゅ」にも連絡し、バース入港船のパイロットに人命救助の旨を連絡し、入港時間の調整を行った。

救助活動では「せいじゅ」と「はやとも」で要救助者を引揚げたが、意識がなかったため金子太郎さんが心臓マッサージを実施し、一命を取り留めた。また陸上では119番に通報し、駆け付けた救急隊を誘導し迅速に引き継いだ。

今回の現場組合員の皆さんの、素晴らしい連携での人命救助活動をたたえ、2月2日に北九州市門司消防署で、感謝状贈呈式が開催され、西日本海運株式会社の井上亨さん（船長）、濱川弘一さん（船長）、下岸寛さん（船長）金子太郎さん（船長）、岡音響さん、真田翔磨さんが表彰され、金子太郎さんが代表し、感謝状を受け取った。

「海員だより」